



# 光 和

7月号  
練馬区立光和小学校  
令和8年6月30日

光和小  
携帯サイト



## 恩送り

校長 宮林 伸之

6年生が、6月8日～10日の2泊3日間、武石移動教室に行ってきました。

8日の朝は、小雨が降る中での出発式でした。そんな中、大勢の保護者の皆様、教職員に見守られながら出発しました。子供たち、そして、担任の日頃の行いの善さでしょうか。バスを走らせていくと次第に天候が回復し、曇り空に変わりました。

1日目、車山ハイキング。車山は少し曇ってはいましたが、ハイキングには最高の気候でした。途中、一面が霧に覆われた時もありましたが、子供たちは家庭科で作ったナップサックを背負いながら全員が無事に登り切ることができました。オレンジ色の花が咲くレンゲツツジを眺めながら大自然を満喫しました。

2日目の午前、黒曜石ミュージアムに行き、黒曜石キーホルダーや矢じり・勾玉などを作りました。子供たちは、夢中になって取り組み、世界に一つだけのお土産を作りました。とても嬉しかったのでしょ。作ったものを首からかけている子も見られました。午後は、鷹山ファミリー牧場へ行き牧場体験。グループに分かれて牛のブラッシング・乳しぼり・ヤギの散歩体験をしました。初めての体験に苦戦している子や平気でやり遂げる子などそれぞれです…いろんな子の一面を観ることができ楽しく感じました。そして夜はキャンプファイヤーです。火の神は、4人の火の子に「飛躍」「和楽」「自律」「礼儀」の火を託しました。その後は、火を囲って歌ったり、踊ったり、ゲームしたりと楽しい時間を過ごしました。

最終日は、自然史博物館へ行きました。地球誕生から生命の進化の歴史や迫力ある巨大な恐竜標本などに触れ、学びを深めました。

この移動教室を通して2つのことを感じました。

1つは、子供たちが自ら考え行動する自主性、仲間と協力し合う協調性を育んだことです。子供たちは、しおりを確認しながら先を見通して行動したり、班長、食事係、レク係、生活係、保健係など、班や全体の責任を果たしたりする姿が随所に見られました。すべての行程で、5分前行動ができたことは、光和の6年生の力です。

2つは、教職員の協力体制です。担任を初め引率した教員・支援員は、この移動教室が子供にとって最高の思い出になるよう能動的かつ創造的に考え、動いていました。また、移動教室に行かない教職員もお見送りやお迎え時、子供たちの姿を見つめるとともに荷物などの運搬を積極的に行いました。全教職員が、子供たち一人一人を大切にしていることを改めて実感することができました。

移動教室3日目の朝会時、私は子供たちに「恩送り」の話をしました。「恩送り」とは、誰かから受けた親切や恩恵を、その人本人に返す（恩返し）のではなく、別の誰かに送る（別の人へ親切にする）ことです。移動教室を終えた翌日のことです。5年生の「究極の和食発表会」に招待された6年生。発表会を聞いた6年生は5年生に対して、とてもあたたかい言葉をかけたり、賞を与えたりしていました。その言葉を受けた5年生は、何とも言えない微笑みを浮かべていました。6年生はまさに「恩送り」をしていると…とても嬉しく感じた一瞬でした。

光和小学校がさらにあたたかな学校として構築できるよう、最高の6年生を巻き込んで経営に努めたいと考えています。